〔大正十年四月二十二日第三種郵便物認可〕　昭和五年五月二十七日　〔火曜日〕　擊　城　新　聞　第二千八百三十六號　〔一〕

一日一信

最近の産業界の不振は全く憂慮に堪へぬ有様である結果であつて政府の夢明及びその政策今日の財經界の混亂の事情を見れば前者の混亂が一先づ落ち付いた後に改めて後者に由因を發した、際市場に馳驅せしむる時は彼等に壓倒せられ我産業界が合理化を目的として樹てられ需要の減退を奨勵して居る、以上第二段の恐慌がかういつて早速石油、石炭、製酒　羊毛、

ならない、惟ふに現下財界硝子、染料等々の如く殆どたの不況は時期を失した無準備大部分が消費を目的とする市場の支配下に左右せられて居る如きはその著例であの金解禁と不當錯覺に基いて低度工業であつて生産費のたその善後處置に災された大半は原料費と勞銀に食ひ入ることが出來ました。

「祖母さま」

或日、二人の結婚が濟んだのちに、傳藏はその母のなる日世話事及び移轉新築里に云ふのでした。

「私、祖母さまに願ひがして心に緩みなくよく働くございます」

「それは、また改まつてなべし三君の人　人に當ること和かなれば遂に勝利をんですねえ」その口裏がうべし四條の人　自に見不快なものを感じ乍ら祖母へぬやうにして少しづゝ運は云ひました

氣直る日五黄の人　飲食「實は、彦九郎も結婚を慎しみ身を細に動せましたし、一家のまをなつかしいなおすわ——た歸はに自由に、妻への挨拶は宜敷ふ御座いますから——」ではゆつくりた免下さいませな。

正男、利子

娘達一同（一勢に）「何うぞ！」（そして立つて行つた師匠の力なき後姿と錯綜した思索をはらむ目送して居る邑靈な沈默——折からー

と〳〵と流て來る細雨——中々夜がらさがなくて過ぎて行く……

消えゆる様な遠方で野犬の遠吠が聞えた……

……靜に幕……

和歌

小川郷　草野牧笛

生活の環境を歌ふ

暑き日の入道雲のその如き　空想描けり野邊の若葉に

我が母は何をか口に含み居て　養蠶し居れり掃立て三日

初夏は我等の天地とほこることか圖の蛙はひたに鳴きに鳴く

或る少女を悼む

散り逝きし哀れて女は家の為め　犧牲となりけり悲しきはそのこと

これがこの人の運命と云ふべき　か哀れ乙女よ眠かで散り逝く

同　平岡樹月

爭ひし後の淋しさしみじみと　繰返しつゝ聞にさへぬやうに

弟の學費待んとてあらが　を慎しみ　古日となる　六白の人　周の事情を考へ横道にそれ　ず勵むかよし　七赤の人　祭行き惱める事も圓滿に　運び捗どる吉日　八白の人　事なども思ふ程には進　展ーゆかざる日　九紫の人　ひだえ？」

長唄師匠の死（一幕）（五）

歳曲

平町　高野牧夫

戀も知らない、愛も知らない……夜明け前の靄もだ風景を見る様に遠くで眺めてゐた。妾はホントウに馬鹿さんねゝ

虚弱な妾は戀も愛もつらいと同様に生きるなんてこゝが第一變だわ！

……淚が流れてゐる……

元氣なくセキを輕くする弟子。皆心配して（に加減が惡んで御座いますか？）ラジオを聞くのを止めて師匠の周圍に集まる——

師匠（うるさ相に——そのまゝでも柔らかく）

なんでもないんですのゝにわからずやさん騒命に覺へてゐて妾に聞かせてゐるやうにして下さいませよ！（淋しを笑つて）

皆さんの中から小三歳さんより泰だ——おお手なだ立派なお師匠さんが出るお樂しみですわ——妾（洗默

——暫く間——

瞳を閉ぢ歌よのを止めて魅せられた様に身動きもしない——師匠！——眼から泪が止めどなく流れて居る。淑しそうな全体をしそうな表情。

——間——

師匠　やつぱり歌目だわ——（突然すゝり泣きの聲起る）

師匠（ハンカチで顔をおさえてゐる）娘達の間から靜かにすゝり泣きの聲し初める

師匠（泪をふいて——皆に妾、氣分が惡ふ御座いますから、お先に失禮させていたゞきますわ——た歸はに自由に。妾への挨拶は宜敷ふ御座いますから——ではゆつくりた免下さいませな。

正男、利子

娘達一同（一勢に）「何うぞ！」（そして立つて行つた師匠の力なき後姿と錯綜した思索をはらむ目送して居る邑靈な沈默——折からー

と〳〵と流て來る細雨——中々夜がらさがなくて過ぎて行く……

消えゆる様な遠方で野犬の遠吠が聞えた……

……靜に幕……

和歌

小川郷　草野牧笛

生活の環境を歌ふ

暑き日の入道雲のその如き　空想描けり野邊の若葉に

我が母は何をか口に含み居て　養蠶し居れり掃立て三日

初夏は我等の天地とほこることか圖の蛙はひたに鳴きに鳴く

或る少女を悼む

講談　高山彦九郎

（145）　中西洋々作

市施長春畫

結婚まで　（四）

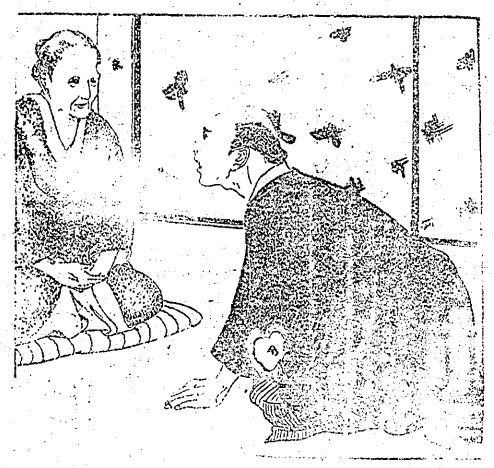
えにしの不思議は、たうたう彦九郎とお光を結ばせてしまいました

勿論、そこには兄傳藏のやかましい反對がありました。高山家のものゝあらふものが、たかゞ水飲百姓の娘をめとるような不見識は斷じて許されないと云ふのです。

それでは、妾としても長藏は云ひましたが、弟の分際として妾をもつなどゝは

以て他だといひます。かういふでこのいへば、

「たゝ〳〵それはよいことしたことを云ひだされようは思ひもかけないことでも一切かまはぬとは何とも言葉だ。それで、兄弟とかへるか」長藏は聲を大にして叱咤しましたが、しかし傳藏はどうもつても言葉さに怒りを含んで反對しま



に里としてもあまりに意想外の言葉に我耳を疑ひ乍ら、たづねかへしました

「彦九郎に、財産を分けてやらうと存じますのでせ」

傳藏は同じことをくりかへし云ひました

「それはよいことしたことを云ひだされようは思ひもかけないことでも一切かまはぬとは何とも言葉だ。それで、兄弟とかへるか」長藏は聲を大にして叱咤しましたが、しかし傳藏はどうもつても言葉さに怒りを含んで反對しま

苦しまうと米一合、合力することではない。これは前以て、云うて置く」

「は、お言葉ようく分りました」彦九郎はかういつてうけましたが、叔父や祖母は、その言葉のあまり冷さ

（二十六日夕刊）

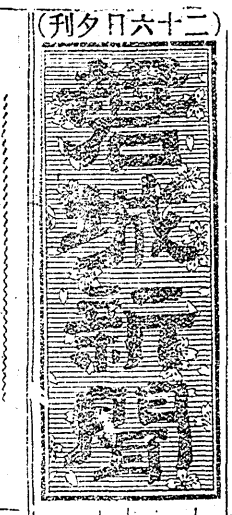
休刊　大祭日　第一、第三日曜

定價　一ケ月六十錢　郵稅十五錢

廣告料　壹行六十錢　指定廿錢增

印刷兼發行人　福島縣平町田町十六番地　藏原鑑輔

發行所　擊城新聞社　電話五六四番



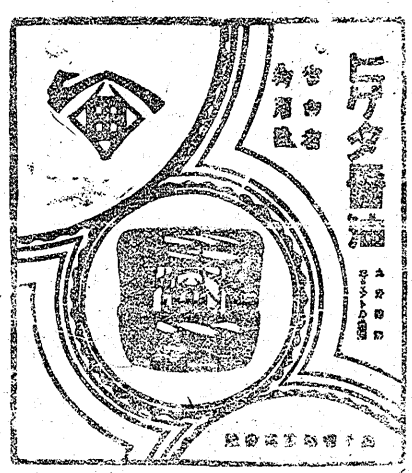
清世界釀造元　清水屋　小野晋平　石城小名濱町　銘酒　各炭鑛御用達　電話六

新築落成　耳、鼻、咽喉科（專門）　氣管食道科　平町南町（舊診療所向電一七〇番）　大和田醫院　大和田都司

修理ハ早ク良ク仕リマス　時計　貴金屬商　眼鏡類商　蓄音器　平町五丁目　金光堂時計店　電話七三六

內臟外科　整形外科　婦人科　產科　小兒科　醫學博士　藤本順長　木村寅次郎　平町新川町　電話一六四番　木村病院

開業第一　健康は胃腸から　薬



上野多藤治　平町田町　特約店　廣澤支店　電話五四番

入完璧意（自慢の便あり）　X光線科　外科專門　平町南町　上田外科醫院　電話一二九　增築落成　病室完備

生徒募集

突如!!東北の野に彗星の如く現はれ常に斯界をリードシ來れる本校が玆に創立滿一周年を迎へ、其の基礎愈々堅實に內容益々充實せり。見よ！斯界に既に運轉手として奮闘しつゝある數百の本校卒業生の活躍振りを!!不景氣知らずの運轉手たらんとする士よ！最も經費少く而も一番早い近路である斯界の權威

公認　磐城自動車學校　（平町四軒町）

◎本校內容は先づ卒業生に聽け！

本科二ケ月五拾圓受驗科一ケ月參拾圓其他短期科夜學科あり學則送る

今回本縣運轉手試驗合格者本校生左の九名（受驗者十名中）藤野藤二、長瀨源次郎、山崎常治、中井武彥、西山一、川村歳義、吉田要二、小山善司

吉田鍵造

貸地廣告

平町郡役所より稅務署附近の新開地に五百餘坪の貸地があります、然かも完全な土盛でありますから流失其の他の憂ひ絕對になく商店、諸工場並に高級の住宅地として最もの適地を極く安値にお貸しいたします

御希望の方は電話なり葉書なり御申込下さいますれば社員が伺ひして親しく御相談に應じます

小名濱商事株式會社　平出張所　電話　六〇三番　五四一番

一圓十錢のフランス　マルソー會社元詰　マルソー、ブランク　ルージ　生葡萄酒　優良にして安價賣行き飛ぶが如し　平二　西村屋藥舖　たばなし　三番

時計　貴金屬商　眼鏡類商　蓄音器　平町五丁目　金光堂時計店　電話七三六

內臟外科　整形外科　婦人科　產科　小兒科　醫學博士　藤本順長　木村寅次郎　平町新川町　電話一六四番　木村病院

開業第一　健康は胃腸から　藥

上野多藤治　平町田町　特約店　廣澤支店　電話五四番

檢査を嚴重に
水口自動車一掃
三十日より五日間
平、四倉兩署檢査

平、四倉兩署管内自動車々庫を命じて悲鳴をあげさせ體檢査は三十日より五日間行はれる例もので所有者は平町八幡小路舊磐中グランドで執行されるが最近平署共に怠々としてゐる右に就いて係官は語る

石城地方は極最近になつて二三優秀な車體も見受らるゝに至つたが從來のボロなのには驚かざるを得なかつた、殊に乘合において甚だしかつた樣で交通網の上からしても事故防止の點からしても不良な車は飽くまで排斥する必要があるので徹底的に檢査をなす方針である尙今後は一回毎に嚴重さを加へらるゝ事と思ふ

平第一校　上遠野長吉
一、高二地理科教材取扱上の範圍に關する私見
好間壽高校　吉川安松
一、綜合文化の建設へ
四倉校　青木英明
一、唱歌教授實際問題について
内郷校　本田藤雄

今日から
求人開拓に
平職業紹介所の大活動

平職業紹介所では二十六日から三十一日まで求人デーに當り特に成果を收むべく町内の各官廳、銀行、會社、商店、その他求人方面に二十五日書狀を發し所員が訪問して運動を開始したがこれが編入の正式告示は二十四日付縣告示第二百五十三號を以て行はれた

四倉漁港の
縣費支辨
編入正式告示

石城郡四倉港の縣費支辨港編入は既報の如く決定したがこれが編入の正式告示は二十四日付縣告示第二百五十三號を以て行はれた

石城郡下は
桑葉の洪水
收繭は二割安
繭價は二割安

石城地方における桑葉收穫は既報の如く經過極めて良好で來月七、八日頃には收繭を見る豫定であるが桑葉の常見る所謂會成立の氣分である。佐野、伊尻、高柳の諸先輩は、當然萬情の溫かる意味で一つの會を作つて磐城と水戸の名よき磐水會の名が生じた。此處迄は極めて眞摯の自己を全會員互に水會として集合するや決して無火災の狀態である原因の主なるものは殘火の不始末提燈の置き忘れ煙草の吸ひ殼等で損害高は年々增加してゐる處數及損害を年別にすると左の如し

年別	處數	損害
大正十五年	三五	四五、八七
昭和二年	二三	四五、三〇
同　三年	一四	七、三二
同　四年	一七	二三、二三〇

平署では二十五日から同署に於て行はれる警察部長巡閱材料として既往五ヶ年間における火災狀態を調査したがそれによると大正十五年より本年五月までの平署管内火災度數は八十四回この損害三十六萬八千六百七十圓で各町村内、内平四郷が最も多く玉川、江名、下小川、渡澤は五年間を通じて無火災の狀態である原因の主なるものは殘火の不始末提燈の置き忘れ煙草の吸ひ殼等で損害高は年々增加してゐる處數及損害を年別にすると左の如し

年別	處數	損害
大正十五年	二五	八、七
昭和二年	二三	四五、三〇
同　三年	一四	七、三二
同　四年	一七	二三、二三〇

警察部長巡閱材料
五ヶ年の火災狀態
損害三十七萬圓
平署管内成績

同　五年　七　一〇、二〇〇

盛會を極めた
石城教育部會
平第一校講堂で
田中博士の講演

石城郡教育部會總會は二十五日午前九時半から平町第一小學校講堂に於て開催、當日參會者約四百名縣から津田視學臨席會長開會の辭を述べ諸報告並に協議の後役員の改選を行ひ次いで會員の研究發表あり午後一時から帝大教授田中寛一氏の「日本の將來」と題する有益なる講演あつて午後三時半散會したが會員の研究發表の一小學校講堂に於て開催、當日參會者約四百名縣から津田視學臨席會長開會の辭を述べ諸報告並に協議の後役員の改選を行ひ次いで會員の研究發表あり午後一時から帝大教授田中寛一氏の「日本の將來」と題する有益なる講演あつて午後三時半散會したが會員の研究發表の

四倉濱の
鰹漁船は
廿八日頃から出漁す

四倉町各船主にては夏期鰹船の出漁準備中なりしが愈々準備も出來上り來る五月廿八日頃出漁に向ふ

濱三郡木炭
賣行促進
在庫品整理

濱三郡木炭同業組合では販路擴張のため石城、相馬、双葉三郡に亘る各驛における木炭の在庫品を調査して各般の事項の準備を進めるが石城郡下には平方二十三圓で各町村に割當てる豫定であるが桑葉の收穫期に於ては桑葉の增產を見越して一人當り七名增員現在の二十四名を三十一名に增員並に支所出張所の增設があり改正實施にゆ檢査員增員並に各郡に亘つて檢査員增員並に支所出張所の增設があり改正實施にゆ

平米檢所が
出張所增設で
檢査員を七名增加

壓報の通り來る九月一日から縣穀物移出檢查が產米郡發檢査に改正實施されるにつき各郡に亘つて檢査員增員並に支所出張所の增設があり改正實施にゆ

此の融合の上に
（磐水會紹介）
在東大　澤田隆義

磐中奉職拾年の回想記を近藤先生が今年度磐中校友會誌上に載せられて居る。先生の繪筆姿と道場にお立ちになる稽古姿を私は五年前の磐中時代に戻つてまざ〳〵と思ひ浮べた。そして先生の回想記が持つ追想の限りなき力に驅られて私は我が磐水會拾年の歷史を顧みた。更に先生の文の持つ「開拓し行く力の偉大さ」に私は胸一滿の感激と激勵とを感じ乍ら磐水會の將來を靜かに考へたのである

母校の諸先生への御無沙汰を卒磐水會員は之の一文を以て詫びし、全石城の先輩各位並びに後輩諸君に對して磐水會の本義を私は五年前の磐中時代に戻つてまざ〳〵と思ひ浮べた。そして先生の回想記が持つ追想の限りなき力に驅られて私は我が磐水會拾年の歷史を顧みた。更に先生の文の持つ「開拓し行く力の偉大さ」に私は胸一滿の感激と激勵とを感じ乍ら磐水會の將來を靜かに考へたのである

母校の諸先生への御無沙汰を卒磐水會員は之の一文を以て詫びし、全石城の先輩各位並びに後輩諸君に對して磐水會の本義を私は五年前の磐中時代に戻つてまざ〳〵と思ひ浮べた。そして先生の回想記が持つ追想の限りなき力に驅られて私は我が磐水會拾年の歷史を顧みた。更に先生の文の持つ「開拓し行く力の偉大さ」に私は胸一滿の感激と激勵とを感じ乍ら磐水會の將來を靜かに考へたのである

此の融合の上に
（磐水會紹介）
在東大　澤田隆義

磐中奉職拾年の回想記を近藤先生が今年度磐中校友會誌上に載せられて居る。先生の繪筆姿と道場にお立ちになる稽古姿を私は五年前の磐中時代に戻つてまざ〳〵と思ひ浮べた。そして先生の回想記が持つ追想の限りなき力に驅られて私は我が磐水會拾年の歷史を顧みた。更に先生の文の持つ「開拓し行く力の偉大さ」に私は胸一滿の感激と激勵とを感じ乍ら磐水會の將來を靜かに考へたのである

母校の諸先生への御無沙汰を卒磐水會員は之の一文を以て詫びし、全石城の先輩各位並びに後輩諸君に對して磐水會の本義を私は五年前の磐中時代に戻つてまざ〳〵と思ひ浮べた。そして先生の回想記が持つ追想の限りなき力に驅られて私は我が磐水會拾年の歷史を顧みた。更に先生の文の持つ「開拓し行く力の偉大さ」に私は胸一滿の感激と激勵とを感じ乍ら磐水會の將來を靜かに考へたのである

四倉沖で鰯群を
爭ふて大亂鬪
菅波氏の漁船網を破らる
四倉署員を急派す

去る廿四日四倉町新町菅波に至らざりしか一時は之れ末吉氏所有漁船と同町齋藤爲治氏所有漁船が四倉沖合の網を破つた爲め海上にて大騷ぎとなりあはや大亂鬪を引起こさんとした處を急報一棟を發火して鎭火したが何故に必要であるか。

産業技術員
設置町村へ
縣補助交附

石城郡下町村並に町村農會

そろ〳〵活況の
石城の各濱で
鰹五千尾漁獲

石城郡下各濱は夏漁期に向にして產業技術員設置しるもの、與し昭和四年度後期縣補助會は左の如く交付される旨今回指令があつた

町村	金額
平町	三〇圓
上遠野村	三〇圓
神谷農會	三〇圓
四倉農會	三〇圓
石城郡農會	七〇圓
馬匹人工受精	
石城產馬組合第三回人工受精	廿七日上遠野村競馬場で行ふ種はアラビヤールアノ種ドルバウトル號である

石城產馬の
牡馬健康診斷

石城郡產馬畜產組合主催の傳染病豫防健康診斷は廿七日午前八時川前小白井△六月一日同上遠野町根岸市場△二日回磐崎村藤原惣代宅△同午後一時渡邊村上下釜惣代宅△三日午前八時上遠野深山田惣代宅△四日同潮上瀧惣代宅△同後二時同下瀧惣代宅△五日午前八時入遠野上分惣宅△同午後二時同下分惣代宅△六日午前九時同上根本上分惣の坂同後下分同所△七日午前八時入遠野大平惣代宅△八日午前石住村員泊厳員屋△九日午前員泊惣代宅

海軍記念日に
森少將講演
磐中校で

磐中校では二十七日海軍記念日に平町各學校に於てはそれ〳〵記念講演會を催すが磐城中學校では日本海々戰に參加した森豫備海軍少將、海軍記念日に平第一校　上遠野長吉
一、高二地理科教材取扱上の範圍に關する私見
好間壽高校　吉川安松
一、綜合文化の建設へ
四倉校　青木英明
一、唱歌教授實際問題について
内郷校　本田藤雄

今日から
求人開拓に
平職業紹介所の大活動

平職業紹介所では二十六日から三十一日まで求人デーに當り特に成果を收むべく町内の各官廳、銀行、會社、商店、その他求人方面に二十五日書狀を發し所員が訪問して運動を開始したがこれが編入の正式告示は二十四日付縣告示第二百五十三號を以て行はれた

四倉漁港の
縣費支辨
編入正式告示

石城郡四倉港の縣費支辨港編入は既報の如く決定したがこれが編入の正式告示は二十四日付縣告示第二百五十三號を以て行はれた

石城郡下は
桑葉の洪水
收繭は二割安
繭價は二割安

石城地方における桑葉收穫は既報の如く經過極めて良好で來月七、八日頃には收繭を見る豫定であるが桑葉の常見る所謂會成立の氣分である。佐野、伊尻、高柳の諸先輩は、當然萬情の溫かる意味で一つの會を作つて磐城と水戸の名よき磐水會の名が生じた。此處迄は極めて眞摯の自己を全會員互に水會として集合するや決して無火災の狀態である原因の主なるものは殘火の不始末提燈の置き忘れ煙草の吸ひ殼等で損害高は年々增加してゐる處數及損害を年別にすると左の如し

年別	處數	損害
大正十五年	三五	八、七
昭和二年	二三	四五、三〇
同　三年	一四	七、三二
同　四年	一七	二三、二三〇

平署では二十五日から同署に於て行はれる警察部長巡閱材料として既往五ヶ年間における火災狀態を調査したがそれによると大正十五年より本年五月までの平署管内火災度數は八十四回この損害三十六萬八千六百七十圓で各町村内、内平四郷が最も多く玉川、江名、下小川、渡澤は五年間を通じて無火災の狀態である原因の主なるものは殘火の不始末提燈の置き忘れ煙草の吸ひ殼等で損害高は年々增加してゐる處數及損害を年別にすると左の如し

年別	處數	損害
大正十五年	二五	八、七
昭和二年	二三	四五、三〇
同　三年	一四	七、三二
同　四年	一七	二三、二三〇

警察部長巡閱材料
五ヶ年の火災狀態
損害三十七萬圓
平署管内成績

同　五年　七　一〇、二〇〇

盛會を極めた
石城教育部會
平第一校講堂で
田中博士の講演

石城郡教育部會總會は二十五日午前九時半から平町第一小學校講堂に於て開催、當日參會者約四百名縣から津田視學臨席會長開會の辭を述べ諸報告並に協議の後役員の改選を行ひ次いで會員の研究發表あり午後一時から帝大教授田中寛一氏の「日本の將來」と題する有益なる講演あつて午後三時半散會したが會員の研究發表の

四倉濱の
鰹漁船は
廿八日頃から出漁す

四倉町各船主にては夏期鰹船の出漁準備中なりしが愈々準備も出來上り來る五月廿八日頃出漁に向ふ

濱三郡木炭
賣行促進
在庫品整理

濱三郡木炭同業組合では販路擴張のため石城、相馬、双葉三郡に亘る各驛における木炭の在庫品を調査して各般の事項の準備を進めるが石城郡下には平方二十三圓で各町村に割當てる豫定であるが桑葉の收穫期に於ては桑葉の增產を見越して一人當り七名增員現在の二十四名を三十一名に增員並に支所出張所の增設があり改正實施にゆ

平米檢所が
出張所增設で
檢査員を七名增加

壓報の通り來る九月一日から縣穀物移出檢查が產米郡發檢査に改正實施されるにつき各郡に亘つて檢査員增員並に支所出張所の增設があり改正實施にゆ

四倉沖で鰯群を
爭ふて大亂鬪
菅波氏の漁船網を破らる
四倉署員を急派す

去る廿四日四倉町新町菅波に至らざりしか一時は之れ末吉氏所有漁船と同町齋藤爲治氏所有漁船が四倉沖合の網を破つた爲め海上にて大騷ぎとなりあはや大亂鬪を引起こさんとした處を急報一棟を發火して鎭火したが何故に必要であるか。

産業技術員
設置町村へ
縣補助交附

石城郡下町村並に町村農會

そろ〳〵活況の
石城の各濱で
鰹五千尾漁獲

石城郡下各濱は夏漁期に向にして產業技術員設置しるもの、與し昭和四年度後期縣補助會は左の如く交付される旨今回指令があつた

町村	金額
平町	三〇圓
上遠野村	三〇圓
神谷農會	三〇圓
四倉農會	三〇圓
石城郡農會	七〇圓
馬匹人工受精	
石城產馬組合第三回人工受精	廿七日上遠野村競馬場で行ふ種はアラビヤールアノ種ドルバウトル號である

石城產馬の
牡馬健康診斷

石城郡產馬畜產組合主催の傳染病豫防健康診斷は廿七日午前八時川前小白井△六月一日同上遠野町根岸市場△二日回磐崎村藤原惣代宅△同午後一時渡邊村上下釜惣代宅△三日午前八時上遠野深山田惣代宅△四日同潮上瀧惣代宅△同後二時同下瀧惣代宅△五日午前八時入遠野上分惣宅△同午後二時同下分惣代宅△六日午前九時同上根本上分惣の坂同後下分同所△七日午前八時入遠野大平惣代宅△八日午前石住村員泊厳員屋△九日午前員泊惣代宅

海軍記念日に
森少將講演
磐中校で

磐中校では二十七日海軍記念日に平町各學校に於てはそれ〳〵記念講演會を催すが磐城中學校では日本海々戰に參加した森豫備海軍少將、

財界不況の爲め
綿工場が整理
仕事が全く無く
連日四苦八苦

石城郡下に於ける綿工場に於ては夏季閑散時と財界不況の折柄とて連日營業の機織る程の仕事も無く一日の注文高が打返し綿屋の五六貫目が平均であり秋季より機械修繕に多忙なので二三日の注文高を合せて仕事を始める樣な狀態で郡下の小賣店及綿工場では殆んど寢食なので爾來の如き多數使用人も必要なくなつたので數日前より雇人の解雇を行つて居るがこれ等主としてゐる云ひ放ち批判は各人の自ら今日の小集會を終つて吐眞先きに投網するを新妻春治氏所有船が亂入し末吉氏の網を破つた爲め海上にて大騷ぎとなりあはや大亂鬪を引起こさんとした處を急報一棟を發火して鎭火したが何故に必要であるか。

財界不況の爲め
綿工場が整理
仕事が全く無く
連日四苦八苦

石城郡下に於ける綿工場に於ては夏季閑散時と財界不況の折柄とて連日營業の機織る程の仕事も無く一日の注文高が打返し綿屋の五六貫目が平均であり秋季より機械修繕に多忙なので二三日の注文高を合せて仕事を始める樣な狀態で郡下の小賣店及綿工場では殆んど寢食なので爾來の如き多數使用人も必要なくなつたので數日前より雇人の解雇を行つて居るがこれ等主としてゐる云ひ放ち批判は各人の自ら今日の小集會を終つて吐眞先きに投網するを新妻春治氏所有船が亂入し末吉氏の網を破つた爲め海上にて大騷ぎとなりあはや大亂鬪を引起こさんとした處を急報一棟を發火して鎭火したが何故に必要であるか。

石城郡下の
小學校長會議
廿四日平第一校で
役員改選其他

石城郡小學校長會は二十四日午前十時から平第一小學

上遠野村の
火事
三棟燒失

二十五日午前零時半頃石城郡上遠野村字深山農山野早之助方から發火住家二棟物置一棟を燒失して鎭火したが

石城郡下の
小學校長會議
廿四日平第一校で
役員改選其他

石城郡小學校長會は二十四日午前十時から平第一小學

上遠野村の
火事
三棟燒失

二十五日午前零時半頃石城郡上遠野村字深山農山野早之助方から發火住家二棟物置一棟を燒失して鎭火したが

初夏　サロンの新裝

店内に新綠の氣分を集め、アイスクリームを開始いたしました、ドーゾ御用命を……

……（御一人前十五錢）

田町　サロン　電話三五二番

サロンの公休は毎月第三日曜

タクシーの御用命は新しい氣持のよい

昭和タクシーへ　電三四三番

サシミ

江戸前料理　金水

あわびの料理　初夏の鳥料理

始めました、ぜし一度御試食下さい

出前迅速　錦水　田町末廣東隣り（電八〇三）

創業廣告

今般時代の趨勢に鑑み合資會社高橋商會を創業いたし左記營業種目に依り親切第一主義を以て營業致す事と相成り候間何卒御利用御用命の程御願ひ申上候

營業種目……燃料、木材、金融、仲立

平町白銀町一一

合資會社　高橋商會

電話六三八

代表者　高橋龜松

內臟外科　外科一般　花柳病科

入院隨意　自炊の便あり

平町苗町赤心堂病院跡

安齋外科醫院

電話四三六番